

花きの県別生産出荷概況(12月見通し)

令和3年11月30日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		12月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数 千本 (前年比)	京浜地域向 千本 (前年比)	上旬	中旬	下旬		
バラ	茨城県	施設	サムライ アバランチェ アイリーン ほか	周年	2.8 (100%)	118 (100%)	100 (100%)	30	40	30	古河市 石岡市 茨城町	<ul style="list-style-type: none"> 生育は平年並。 燃油高騰による影響で、収量・出荷量の減少が懸念される。 病害虫の影響は特になし。
	群馬県	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	11.5 (98)	650 (95)	460 (95)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	<ul style="list-style-type: none"> 作付量の減少、9月上旬の長雨の影響から出荷数量は微減傾向となる。 品質については、問題無し。
	静岡県	周年	サムライ オール4ラブ シンディ	周年 (4~6月)	1.3 (96%)	700 (97%)	550 (97%)	30	40	30	JA掛川市 JAしみず JA大井川 JA静岡市	<ul style="list-style-type: none"> 現状出荷量は減少してしまっており、冷え込みの影響から横ばい~微増程度で大きな山は無い見込み。クリスマスに向けた赤バラの出荷は、大きなピークを持ってこれず、前後にも分散する見込み。
ストック	千葉県	施設		11~4月 (2~3月)	40.0 (100%)	240 (100%)	120 (100%)	10	40	50	館山市(神戸、 西岬)、南房総 市(白浜、千倉、 丸山、和田)、鴨 川市	<ul style="list-style-type: none"> 病害虫の被害なく、順調に生育しており、年末にかけて出荷量が増える見込み。 白、ピンク、マリン色が中心である。西岬地区からはアイアンシリーズ、神戸地区からはカルテットシリーズが出荷される見込み。 セリ二日前出荷を行い、一定品質のストックを定期的に出荷できる見込み。

花きの市場別販売概況(12月見通し)

令和3年11月30日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	販売における現状と今後の見通し		
バラ	現状	これまでコロナ禍でブライダルが出来なかった分、例年同様にブライダル注文が入り、逼迫している。22日いい夫婦の日向けも好調で、単価高で推移(大田)。山形、栃木、群馬、静岡等、暖地中心に安定した入荷。大きな需要ないが引合いあり強保合相場(FAJ)。ブライダル需要、いい夫婦の日など、非常に引き合く高単価で推移。(第一花き)。入荷少なく、強保合(世田谷花き)。日中の気温が高めなのでまだそうでもないが、重油高で産地によっては暖房を焚き洪っており冷え込みが入ると入荷量が減少しそうな感じである。販売は業務需要中心の動き。小売りの店頭販売が若干鈍め(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	前半は、ある程度の入荷増加が見込まれるが、中旬から下旬にかけては減少傾向。重油高騰により、品薄感が出るのが予想される。
		FAJ	栃木、群馬、千葉、静岡等より数量はやや少なめ続き、クリスマス前は赤中心に引合い強まる見込み
		第一花き	入荷は引き続き多くない見込み。クリスマス需要など、特に赤の引き合いが強そう。
		世田谷花き	引き続き入荷は少ない見込み。後半に向け、赤中心の引き合いとなる。
東日本板橋花き	暖地中心の入荷となり東北物は終盤。重油高の影響で今後どれだけ入荷量になるかは不透明だが集荷に努めていきたい。販売は年末需要中心の販売。		
アルストロメリア	現状	愛知、長野、山形と出荷量は安定。需要は業務需要中心だが、数量増加に伴い、専門店・ブーケメーカーからの問い合わせも増加していった(大田)。山形、長野中心に岩手、愛知等より入荷。数量は昨年並み。前半多くもしっかり販売、安定相場(FAJ)。昨年に比べ若干少ないが単価は堅調(第一花き)。例年よりやや多く入荷して推移。やや安い、そこまで落ちない(世田谷花き)。愛知・青森中心の入荷。昨年並みの出荷量(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	引き続き、愛知、長野、山形を主産地として安定入荷となる。入荷量は、上旬・中旬と横ばい、年末に向け増加する。
		FAJ	長野、山形、愛知等より、夏冷涼、秋温暖により数量例年並~やや多め予定。年末需要は27日市ピーク。
		第一花き	年末もそこまで多くなく、迎春需要で品薄になる見込み。
		世田谷花き	年末に向けて、そこまで増えない。引き合いはある。下位等級はやや品薄か。
東日本板橋花き	愛知・青森中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定だが重油価格高い為、入荷の増減がある可能性がある。		
ストック	現状	上・中旬は、山形中心に潤沢な入荷。下旬より、千葉も重なり入荷量は増加。販売面では前半は気温高く、鈍い状況が続いた(大田)。山形中心に秋田、福島等より前半多いが後半数量減に伴い相場回復、特にST不足気味となった(FAJ)。山形・福島からの入荷。前進開花が止まらず、短い物が多数入荷(世田谷花き)。	
	見通し	大田花き	10月、11月と前進出荷したため、玉切れとなる産地も出てくるが、年末需要に向けて数量増加し、活発な取引が見込まれる。
		FAJ	山形中心に福島、千葉等より入荷予定。前進の影響で数量は伸びず年末にかけて品薄高となる見込み
		世田谷花き	山形・福島県産の出荷が終盤をむかえ、千葉からの出荷が始まるものの品薄になる。